

再評価結果（平成18年度事業継続箇所）

担当課：沖縄総合事務局 道路建設課  
 担当課長名：田中 衛

事業名	市道真壁名城線 <small>まかべなしろせん</small>		事業区分	地方道	事業主体	糸満市 <small>いとまんし</small>						
起終点	自：糸満市真壁 至：糸満市名城 <small>いとまんしなしろ</small>			延長	2.39km							
事業概要	<p>市道真壁名城線は県道54号線を起点とし国道331号に至る延長2.39kmの市道である。近隣には病院、社会福祉センター、小中学校等の公共施設があり、さらに農業試験場の移設もおこなわれている。</p> <p>近年、地域の通勤・通学等の重要な道路として交通量の増加している本路線について、狭小幅員を15.0mに拡幅し、歩車道の整備を行い交通の円滑化と歩行者の安全を確保する目的で行うものである。</p>											
H8年度事業化	H年度都市計画決定 (H年度変更)	H8年度用地着手	H9年度工事着手									
全体事業費	約16億円	事業進捗率	89%	供用済延長	0.59km							
計画交通量	1,900台/日（平成42年）											
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.5 (残事業) 9.5	総費用 (残事業)/(事業全体) 2/16億円 事業費：2/16.0億円 維持管理費：0/0億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 17/25億円 走行時間短縮便益：17/24億円 走行費用減少便益：0/1億円 交通事故減少便益：0/0億円	基準年 平成17年度								
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> <li>物流効率化の支援(現道等における総重量25tの車両が通行できない区間を解消する)</li> <li>地域ネットワークの構築(現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する)</li> <li>安全な生活環境の確保(当該区間の自動車交通量が1,000台/12h以上かつ通学路となっている。)</li> </ul>											
関係する地方公共団体等の意見	通学路の確保及び地域振興を図るうえで、早期の道路整備が伊敷区、名城區から要望。											
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	沿線で「農業研究センター整備事業」が実施されていることにより交通量が増加傾向にある。											
事業の進捗状況、残事業の内容等	現在までに0.59kmを部分供用し、用地・補償が約90%完了している。平成18年度までに用地を全て取得し平成19年度までに工事を完了する予定。											
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	一部において用地・補償交渉に時間を要したが、平成17年度までに全て承諾が得られ、平成19年度までに工事を完了し供用開始する予定である。											
施設の構造や工法の変更等	特になし											
対応方針	事業継続											
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。											
事業概要図	<table border="1" style="float: left; margin-right: 20px;"> <tr><th colspan="2">凡例</th></tr> <tr><td>再評価対象事業</td><td></td></tr> <tr><td>うち供用中</td><td></td></tr> </table>						凡例		再評価対象事業		うち供用中	
凡例												
再評価対象事業												
うち供用中												